

常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ

令和 4年 9月 22日(木)
通算 259号

◇ 学区に支えられた学校行事



上の写真は、8/30(火)に行われた2学期最初の学校行事【校内音楽会】。

プロのマリンバ奏者である小田もゆるさん他2名、計3名をお招きしての[マリンバ・ピアノ・ヴァイオリン]による【学校音楽会】である。

マリンバの軽快で心地よい音色が、学期はじめの児童のもやもやした気持ちを吹き飛ばす。2学期のスタートダッシュを促し、児童のやる気を後押しする本当によい機会となった。

マリンバ奏者の小田さんは、お話がとても上手で、子供たちの心を見事につかんで音楽の世界に引き込む。表情が豊かで、動きも軽い。人を引き付ける魅力が満載だ。

それら備える資質のあまりの見事さが気にかかり、お見送り後にネットで調べてみると…なるほど、納得。

マリンバ奏者としてお活躍する傍ら、音楽系大学の講師を務め、教育系書籍も出版されている。さらに、東京ディズニーランド・ミュージックフェスティバルプログラムにトレーナー兼プレイヤーとしても参加されるなど、音楽の世界では名の通る方であることがわかった。



その小田さんをどうしてお招きできたかと言えば、この夏にお店を閉じられた【味彩】の河合さんのおかげである。

もともと小田さんは岡崎市の出身。小田さんのお母様はご健在で岡崎市に在住。そのお母様と長年交流のある河合さんが、コロナ禍で小田さんの演奏の機会が減っていることをお母様からお聞きし、ならば機会をつくろうと河合さんが立ち上がる。それが本校の生演奏会となるのが、河合さんが本校を愛する所以である。



小田さんと河合さんにつながりがあるとはいえ、演奏に対する対価も発生する。「子供たちのため」と、今回はスポンサーとして河合さんが全てご厚意で担ってくださった。おかげで、学校や保護者の負担がない中で、児童は本物の音楽に触れることができた。本当にありがたいことである。

河合さんのご厚意は、私が河合さんとお付き合いをさせていただいた2年程度でも「熱中症防止タオルの全児童への配付」「学校で実った梅実の買い取り（PTA特別会計に計上）」「梅ジャムの配付」「児童のお店訪問の受け入れ」「自作絵本の寄贈」など数度にわたる。



過去を^{さかのぼ}遡れば、私が把握しているだけでも「出前授業」「屋外移動動物園」「服飾系大学とのコラボによる着物ショー」「児童への着物の贈り物」「メダカ池の造成と蓮の栽培、メダカ飼育」「児童のための旧型バスの展示・開放」など、驚くほど多い。

コロナ禍ということもあり、「味彩」店舗での経営が難しくなり、7月末をもってお店を閉じられたとおうかがいしたが、ご自身が難しい状況にありながらも「子供たちへの最後の贈り物」として学校音楽会を提供していただいたことになる。感謝以外にない。

河合さんから頂いたご厚意に対しては、無形の財産となって残る深い情操を蓄えた子供たちの健やかな成長であると考えている。その後押しに学校も努めていく。

<学区の皆様への情報提供>

河合さんの今後であるが、「味彩」という形でお店は閉じられたが、仕出しを中心にした対応は継続されていくとのこと。携帯電話の変更もないとのこと。以上